

1 学校の重点目標

- ・ 人権尊重の精神に立ち、心と心が触れ合う中で、一人一人の個性が存分に輝く教育を目指す。
- ・ 自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に主体的に対応する能力を培う教育を目指す。
- ・ 伝統ある教育風土を生かし、「知・徳・体」の調和のとれた全人教育を推進し、国際感覚を身に付け、自立と社会貢献への基礎を育てる教育を目指す。

2 課題と改善策 ※4段階評価 4ねらいを達成 3おおむね達成 2成果より課題が多い 1大いに改善を要する

	評価項目	評価	評価結果と改善方策
心の教育	1 考え・議論する道徳の授業実践	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究授業を通して、道徳の授業の在り方を全職員で深めた。 ・ 読書量に個人差が大きい。学年相応の読書コーナーを設ける等、興味・関心を高める取組を実施していく。
	2 人権教育の充実	3.5	
	3 一学校一改革「心のこもったあいさつ」	3.1	
	4 読書指導（質・量）の充実	3.3	
	5 学校生活環境の創造及び維持	3.3	
学習指導	1 授業内容・指導法の改善	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習習慣の定着を図るために、引き続き、机上配置や2着1黙を実践していく。 ・ 小中連携研修会で新たに外国語部会を設定し、情報交換を行い、今後の指導に活かす。
	2 個に応じた指導の充実	3.1	
	3 外国語活動・外国語科の充実	3.0	
特別支援教育	1 教育相談の充実	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者が特別支援学級の内容を知る機会を設けたい。
	2 一人一人のニーズに応じた特別支援教育	3.3	
生徒指導	1 自己肯定感を高める学年・学級経営	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年全体の触れ合いを大切にする機会を設け、協調性を高めることができた。 ・ 生徒指導連絡会等で情報を共有し、共通認識をもって関わることができた。
	2 組織的な対応（いじめ防止を含む）	3.5	
保健指導	1 教科体育の充実・体力づくりの推進	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ マラソンカード、なわとびカードを用いて積極的な体力づくりの推進に努めた。 ・ 栄養教諭を中心に「食に関する指導」を実施することができた。
	2 保健指導（う歯治療率80%以上）	3.2	
	3 食育・給食指導の充実	3.4	
	4 安全指導（危険予知能力の育成）	3.1	
情報教育	1 学習効果を上げる ICT 機器の活用	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちへは学活で、保護者へは PTA で講師を招き、情報モラルについて親子で考える機会を設けた。今後も継続して指導していく。
	2 情報モラル教育の充実	3.4	
その他	1 地域素材の活用（学校支援ボランティア）	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域学校協働活動推進員の協力で生活科探検や毛筆指導等貴重な体験を実施することができた。 ・ エコ日記の取組を通して親子で環境問題を考えた。今年度、外務大臣賞受賞。 ・ 小中連携は今年度担当校として、共通実践事項の確認と来年度への取組を協議している。
	2 環境教育の取組（エコ日記応募等）	3.2	
	3 学校運営協議会等を通して学校・家庭・地域との連携強化	3.3	
	4 小中連携・幼保小連携の充実	3.2	
	5 服務規律の厳正確保	3.8	
	6 業務の簡素化・効率化を図る業務改善	3.2	

3 次学期に向けての取組

- 廊下歩行等、声掛けをするがなかなか改善が見られないため、今後も継続していく必要がある。子どもの危険予知トレーニングをする必要がある。
- 個に応じた学習指導を推進するための授業改善と生徒指導問題について組織的に対応するための報・連・相を密に行い、早期発見・早期対応に全職員で取り組む。（チームによる対応）